

なでしこ



茨城県立内原特別支援学校
地域広報紙 第57号
令和元年 7月29日発行
水戸市鯉淵町2570番地
TEL 029-259-5813

日ごろより本校の教育活動にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

地域の小学校、中学校等の児童生徒や地域の方々との継続的な交流の中で、互いに理解と認識を深めることを目的として、交流及び共同学習を行っております。今後も、通学区内の小中学校や地域の方々のお力をお借りして、更に活動の充実を図っていきたくて考えております。また、今年度も地域交流紙「なでしこ」を通して、交流及び共同学習の様子をご紹介していきたいと思っておりますので、ご愛読のほどよろしくお願いたします。

鯉淵小学校との学校間交流「なかよし集会」 6月13日

本校の小学部3～6年生の児童と、鯉淵小学校の児童との交流「なかよし集会」を行いました。10班に分かれ、ハンカチ落としやへびおに、椅子とりゲーム、だるまさんがころんだ等、グループごとにゲームを楽しみました。最初は緊張した様子もありましたが、交流していくうちに表情も明るくなり、鯉淵小の児童の輪に入って、楽しく交流をすることができました。



学校間交流「内原フレンズ①」 6月26日

鯉淵小学校、笠原小学校、河和田小学校、本校の小学部3～6年生の児童で1回目の合同学習会「内原フレンズ」を行いました。今回は5つのグループに分かれて空気砲を作りました。友達と協力して飾りつけをしたり、好きな絵を描いたりして一つだけの空気砲を作りました。制作の途中には、本校の児童と各小学校の児童が関わり合い、楽しく活動する様子が見られました。

後半は、作った空気砲を使って、ペットボトル等を倒すゲームを行いました。「楽しかった!」といった喜びの声をたくさん聞くことができました。



うちとくワークステーション 7月10日

うちとくワークステーションは、仕事に対する興味・関心を高め、中学部段階における職業観を育てること、仕事の体験を通して中学生同士の交流を深めることを目的に行なっています。今年は、内原中学校、緑岡中学校、笠原中学校の中学生、本校の中学部生が参加して、自分で選んだ仕事を3つ体験しました。仕事は、ケーキ屋さん、手芸屋さん、名刺屋さん、写真屋さんの4つの職種でしたが、それぞれの作業体験場所では優しく教えてくださる事業所の皆様の話をよく聞き、真剣に体験する姿が見られました。仕事をする事への期待感ももてた貴重な一日になりました。今回ご協力いただいたボイス社、くれよん工房、写真工房早川、たけのこの皆様、ご協力いただきありがとうございました。

